



新富士ロータリークラブ会報

Rotary Opens Opportunities

— ロータリーは機会の扉を開く —

R I 会長 ホルガー・クナーク
第2620地区ガバナー 荻原 英生
新富士 R. C. 会長 梅谷 明子
幹事 本多 脩身

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30～13:30



第1371回例会(2020.7.28)

期首ガバナー公式訪問



司会 和田 三郎副会場監督
ソング 「我等の生業」
四つのテスト唱和・本年度新富士RCテーマ唱和
RIテーマ唱和

いてくれます、私たちの中核的価値観を基に世界中の仲間たちと共に豊かで意義ある人生への機会への扉を開いてくれます」と語っておられ、とてもわかりやすいと思いました。

会長挨拶

新年度が始まり、3回目の例会となります。本日の会長挨拶は、ガバナーから「PETS、地区研修協議会を踏まえての感想」というお題が出されました。ということで、私個人の感想を述べたいと思います。

荻原ガバナーもロータリーの心、原点に戻って、私たちのクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕等「すべての活動の機会において」もう一度考える時が来ていると語っておられます。

前年度は新型コロナウイルスによりPETS、地区研修の延期中止とゴタゴタが続きました。今日お見えの荻原ガバナーもさぞ私たち以上にご苦労されたかと思えます。

私は、今年度のクラブ運営方針及び目標は「何事もチャンスとして捉えよう」と掲げました。これから先も新型コロナウイルスなど危機的状況になるかもしれない時、そうなった時にしか見えないもの、そうなった時にしかできない活動など、機会・チャンスとして捉え、会員の方々と考え一致団結し、代替えの活動、場合によっては中止という選択も踏まえ、活動をして参りたいと感じました。

冊子、DVDの研修ということは、このコロナ禍の中では最善の選択だったかと思えます。

ゲスト

ただ、2ヶ月の延期により情報も遅れ、新年度に向けての私の心情はとても複雑でした。

国際ロータリー第2620地区

ロータリーとは？以前は「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確率に寄与することを目指した、事業及び専門職務の携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と定義されていました。とてもわかりにくい。

ガバナー	荻原 英生様
地区副幹事	荻野 淳様
ガバナー補佐	小林 俊様
ガバナー補佐事務局	山下 和信様

最近の定義は、「地域社会や世界のために、アイデアを広げながら力を尽くして活動するリーダーのネットワークの仲間になろう！」と変わりました。そんな中、ホルガー・クナークRI会長は「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の世界への招待であり、ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや、一本の植樹まで奉仕する機会への扉を開



▲ 会長挨拶
梅谷明子会長



▲ 幹事報告
本多脩身幹事

プログラム予定

8月11日(火) 振替休会(納涼例会)

8月18日(火) 通常例会
(卓話① 高木宏新会員)

幹事報告

- ①ガバナー事務所より、2020. 7月 熊本豪雨災害への支援のお願い 受信回覧
- ②富士RCより、第1回5RC会長・幹事・親睦委員長会議の案内
8/26(水) 午後6時30分～ 酒蔵十三文
- ③認定NPO法人 静岡犯罪被害者支援センターより、寄付のお願いと支援センターだより 受信回覧
- ④ガバナー月信 7月号
- ⑤週報受信回覧 富士RC 富士宮RC
沼津RC 沼津北RC

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1371回	19	14	5		暫定73.68%

《本日の欠席者》

稲葉 邦文君 仲澤 千尋君 高木 宏君
渡邊 哲男君 高橋 孝行君



▲出席委員会報告
赤刈浩雄出席委員



▲スマイル報告
潮来克土親睦委員

私のスマイル

- 梅谷 明子君 荻原ガバナー、荻野地区副幹事、小林俊ガバナー補佐、山下和信ガバナー補佐事務局様、新富士ロータリークラブ御来訪、感謝申し上げます。
- 本多 脩身君 荻原ガバナー来訪歓迎して。
- 和田 三郎君 荻原英生ガバナーの来訪を歓迎します。
- 潮来 克土君 荻原ガバナーの来訪を歓迎いたします。
- 小山 哲君 荻原ガバナーの御来訪を歓迎いたします。
- 赤刈 浩雄君 荻原ガバナー・荻野副幹事の来訪を歓迎します。
- 木村 憲司君 荻原ガバナーの来訪を歓迎いたします。
- 川村 武君 荻原英生ガバナーの来訪歓迎いたします。
- 堀井 健治君 本日はガバナー荻原様よろしくお願ひします。
- 渡邊 勝英君 荻原ガバナー、本日はご来訪ありがとうございます。
- 長原 幹君 「和を以て貴しと為す」の精神を大切にして、2620地区が発展するように頑張ってください。荻原ガバナーに期待しています。
- 森 美城君 妻の誕生日にお花をありがとうございました。

ガバナー公式訪問ご挨拶

静岡2620地区第2グループ
ガバナー 荻原 英生様



私は国際ロータリー第2620地区ガバナー 静岡RC 荻原英生でございます。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は本年1月19日から25日まで米国サンディエゴで行われました国際協議会に出席し、ドイツ・ロウエンブルグ・メルンRC ホルガー・クナーク本年RI会長から、直接そのテーマ、運営方針について学んで参りました。

本年度RIテーマは、「Rotary Opens Opportunities (ロータリーは機会の扉を開く)」です。

新型コロナウイルスの感染拡大につき、国際ロータリー第2620地区会長エレクト研修セミナーと地区研修協議会は中止されました。感染拡大の第2第3波の心配もまだまだあり予断を許しません、新しい社会の在り方の機会に向かって共に頑張りましょう。

「機会の扉を開く」とは「新しい再出発の扉を開く」という意味です。今回のようなテレワークやオンラインによる、新しい事業計画、新しい活動計画を是非立ててみて下さい。

「友情と人脈づくりの機会、社会貢献の機会、話し合いの機会、自分自身の機会、ネットワークを強化する機会、創造する機会、成果を見る機会」等々。

昔から何年も続いている事業や活動は一度立ち止まって、改めて考え直してみる機会です。

ロータリーはクラブが中心です、地区はクラブをサポ

ートします。

7月から始まった新しい年度、どんな機会となるでしょう、何か挑戦する機会となるでしょうか、すべてはメンバーの皆様次第です。

国際ロータリーは、「世界有数の国際人道支援団体である」と公言して久しいですが、人道的支援を受ける側は必然的にロータリー数は増加します。一方で、人道的支援をする側では、次第に底が付き先細りとなり、やがてその数は減少して行きます。

この20年間で発展途上国では10万人のロータリアンが増加し、反対に先進国では10万人が減少しました。このままでは供給側の人数減少により、十分な支援が困難になるでしょう。過去20年間で日本のロータリアンは約3万人強減少しました。

増強は最大の社会貢献である等、良いアイデアを皆様と共に考えていきたいと思ひます。

ロータリーは慈善団体ではありません。ロータリーはロータリアン同士の親睦によって学ぶ、価値ある奉仕の理想を通して社会に貢献する世界的団体であります。

私はロータリーの心、原点に戻って、私たちのクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕等「すべての活動の機会について」もう一度考える時が来ていると思ひます。

本年度地区のコンセプトは「ロータリーの心と本質を理解し、機会の扉を開こう」です。